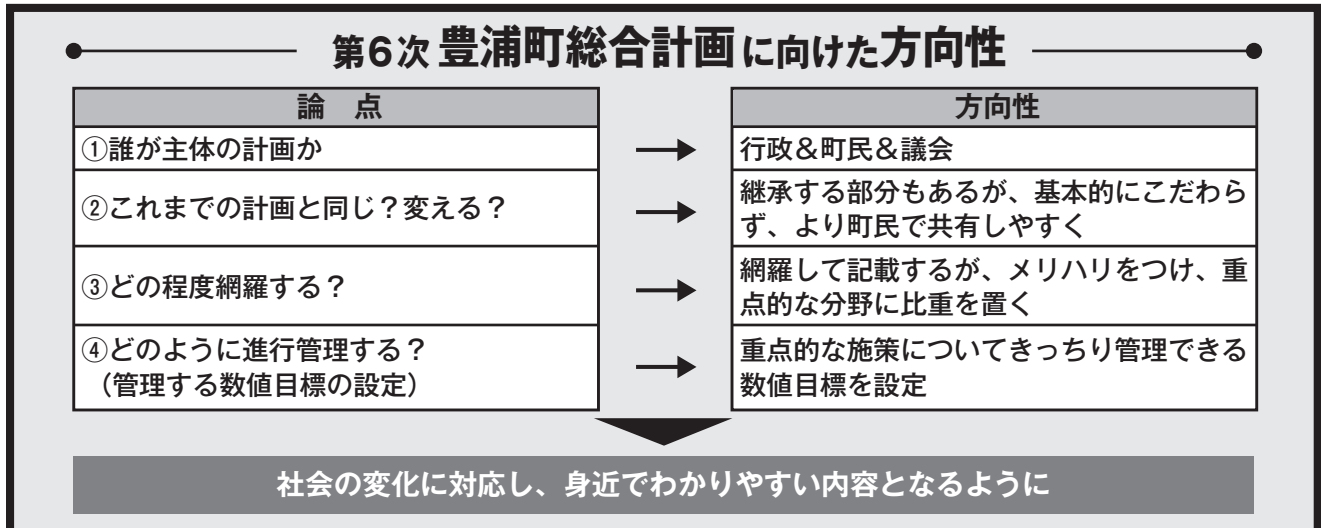


【会議内容（主なもの）】

はじめに、事務局から「豊浦町の現状と将来想定」や「総合計画のポイント（考え方、構成等）」などについて説明を行いました。

その後、計画を策定する上で最初に決めておくべき4つの論点等について、委員の皆さんからご意見をいただきながら、次のとおり、第6次豊浦町総合計画策定に向け、方向性を確認しました。



【会議における意見（主なもの）】

- 税金を増やすためのポイントを絞った視点を示した方が良い。
- 行政と町民と議会のそれぞれの取り組みは、双方向、両面通行で考えて、構想なりに挙げられることが望ましい。
- これまでと違った発想で、10年後のイメージを、町民に分かるように示すのが重要ではないか。将来は明るいもの考えた方が良くと思う。
- 豊浦町の地域力がだんだん落ちてきている中で、やはり皆、リスクをいかに回避して、生活を維持していくかということが一番頭に浮かぶことだと思う。色々な事業をやるにしても、自分の生活を立てていく上でも、何かの意識付けを持っていかないといけない。その意識づけ・動機づけは、小さな地域なので、行政の力が非常に大きいのではないか。それがないとなかなかできない。そのプロセスの一つとして、行政の関わり方を、構想の中で、取り組んでおく必要があるのではないか。
- (計画の構成について) 実施計画のような細かい内容を全部ぎっしり型にはめてしまうのではなくて、行政の変化によって、その都度その都度、流動性を持たせた形で、責任もって庁舎内で検証を実施して提案する形が望ましい。
- 町民に、誰にでもなるべくわかりやすく検証結果の情報提供するような形が必要。ただし、目標はあまり高く設定しない方が良い。

【今後の予定】

第6次豊浦町総合計画策定審議会は、今後4回開催する予定です。今後は、今回の審議会で確認した方向性等をベースに策定作業を進めてまいります。町民の皆さんや子どもたちの意見をお伺いする場として、シンポジウムの開催も予定しております（詳細は、別途、お知らせします）。

皆様のご意見をお伺いしながら、豊浦町の未来を見据え、着実に計画策定を進めてまいります。

問 地方創生推進室 ☎ 83-2121